

副籍様式1

年 月 日

東京都教育委員会 殿

(区市町村名) 教育委員会

年度 副籍制度における地域指定校について (通知)

このことについて、下記のとおり通知します。

記

1 対象児童・生徒

(1) 氏名 (フリガナ)

(2) 生年月日、年齢

2 保護者氏名

3 就学予定校

都立 (学校名〇〇) 〇学部

4 地域指定校 (予定)

立 学校

5 添付書類

年度 副籍交流希望書 (副籍様式2)

<担当>

(区市町村名) 教育委員会 課

〇〇 〇〇

電話

年度 副籍交流希望書

記入日 年 月 日

フリガナ 児童・生徒名	
保 護 者	氏名 住所 電話 ()
地域指定校 (予定)	立 学校
希望する交流活動 の主な内容 (該当する項目に ○を記入する)	<ul style="list-style-type: none"> ・直接的な交流 <ul style="list-style-type: none"> () 行事等における交流 (行事名:) () 教科等の交流及び共同学習 (教科名:) () その他 () ・間接的な交流 <ul style="list-style-type: none"> () 学校便りの交換 () 学年便りの交換 () 学級便りの交換 () その他 () ・交流活動は希望しない ()
交流活動に関する 希望等	※交流活動に関する希望等があればお書きください。

※ 記入日現在の保護者の希望を御記入ください。

※ 本希望書は、都立特別支援学校と地域指定校とが、交流活動の具体的内容について協議・調整する際の参考といたします。

保護者 様

(区市町村名) 教育委員会

年度 副籍制度における地域指定校について

このことについて、下記のとおり決まりましたのでお知らせします。

記

1 対象児童・生徒

(1) 氏名 (フリガナ)

(2) 生年月日、年齢

2 保護者氏名

3 就学する学校・学部

都立(学校名○○) ○学部

4 地域指定校

立 学校

<担当>

(区市町村名) 教育委員会 課

○○ ○○

電話

年度 副籍児童・生徒一覧

年 月 日
(区市町村名) 教育委員会

立 学校長 殿

年度の貴校における副籍児童・生徒は、次のようになりましたので通知します。

フリガナ 氏 名	生年月日・年齢 保護者氏名・続柄		住 所	在籍校 (都立特別支援学校)
1	〒	TEL		
2	〒	TEL		
3	〒	TEL		
4	〒	TEL		
5	〒	TEL		
6	〒	TEL		

年度 副籍児童・生徒一覧

年 月 日
(区市町村名) 教育委員会

東京都立 校長 殿

年度の貴校における副籍児童・生徒は、次のようになりましたので通知します。

フリガナ 氏 名	生年月日・年齢 保護者氏名・続柄		住 所	地域指定校
1	〒	〒	〒	
2	〒	〒	〒	
3	〒	〒	〒	
4	〒	〒	〒	
5	〒	〒	〒	
6	〒	〒	〒	

年度 副籍制度に基づく交流及び共同学習 実施計画書兼実施報告書

ふりがな 氏名		性別		学部 (教育部門) 第 学年 組
学校名	地域指定校		在籍校	
	立	学校	東京都立	
実施関係者	校長名 担任名 (担当者名) 電話番号 ()	校長名 担任名 電話番号 ()		

実施計画			
実施期間	年 月 日から		主な実施形態 【 】直接的な交流 【 】間接的な交流
交流内容	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ※ 早期からの交流開始に向けて、1学期の交流計画が決まり次第、交流活動 を始めるなど、柔軟な対応に努める。 ※ 実施計画を更新した際には、更新日を追記して、関係者で共有する。 </div>		
交流計画			
1学期			
2学期			
3学期			
<宛先> (区市町村名) 教育委員会 様 (区市町村名) 立 学校長 様 保護者 様		副籍制度に基づく交流及び共同学習について、上記のとおり地域指定校と確認しましたので、報告いたします。 年 月 日 (. . / . . 更新) 東京都立 _____ 校長 _____	

実施報告			
実施期間	年 月 日から 年 月 日まで		直接交流の実施 計 回
交流結果	1学期		
	2学期		
	3学期		
<宛先> (区市町村) 教育委員会 様 東京都 教育委員会 様 保護者 様		副籍制度に基づく交流及び共同学習について、上記のとおり実施いたしましたので、報告いたします。 年 月 日 _____ 立 _____ 学校 校長 _____ 東京都立 _____ 校長 _____	

年度	都立特別支援学校名 区市町村教育委員会名
<input type="checkbox"/> 副籍希望者名簿（都立特別支援学校→区市町村教育委員会）	

NO.	フリガナ 氏名	生年月日・年齢		郵便番号・電話番号			(現) 地域指定校	地域指定校
		年	月	日生	歳	住所		
		年	月	日生	歳	〒	TEL	
		年	月	日生	歳	〒	TEL	
		年	月	日生	歳	〒	TEL	
		年	月	日生	歳	〒	TEL	
		年	月	日生	歳	〒	TEL	
		年	月	日生	歳	〒	TEL	
		年	月	日生	歳	〒	TEL	
		年	月	日生	歳	〒	TEL	
		年	月	日生	歳	〒	TEL	
		年	月	日生	歳	〒	TEL	

地域指定校一覧
 (区市町村教育委員会)

副籍希望者名簿
 (都立特別支援学校)

V 副籍制度Q&A

Q1 就学相談の進行が遅れ、都立特別支援学校への就学決定が年度末近くになってしまいました。このような場合でも、地域指定校を調整・決定しなければ「就学支援ファイル」を提出することはできませんか。

A1 「就学支援ファイル」の提出を優先します。地域指定校は、都立特別支援学校に入学した後、在籍校の担任が保護者と相談の上、当該の区市町村教育委員会に連絡します。

区市町村教育委員会は、都立特別支援学校からの連絡に基づいて地域指定校を決定し、保護者及び地域指定校、都教育委員会への通知を行います。したがって、各区市町村教育委員会は、都立特別支援学校への就学決定が遅くなった場合には、当該児童・生徒の保護者に対し、入学後の地域指定校決定手続について、説明を行っておく必要があります。

Q2 就学相談のときには、まだ副籍の利用について決められないと保護者が考えている場合はどのようにしたらよいですか。

A2 区市町村教育委員会は継続して相談をしますが、入学直前まで決まらなかった場合は、入学後は都立特別支援学校が相談を引き継ぎます。保護者の意向が確認できた時点で区市町村教育委員会に通知し、地域指定校の決定手続を進めます。

Q3 都立特別支援学校の児童・生徒が、直接的な交流として地域指定校の授業に参加する場合の標準的な時数はありますか。

A3 在籍校はあくまでも都立特別支援学校です。在籍校での教育課程の実施に支障のない範囲で計画・実施する必要があります。

Q4 直接的な交流の対象となる児童・生徒についての原則はありますか。

A4 次の3点を満たしていることが望ましいと考えます。

- (1) 都立特別支援学校の小・中学部に在籍する児童・生徒のうち、校長、保護者、主治医等による十分な協議を経て、実施可能と判断された者
- (2) 地域指定校と十分協議し、地域指定校の校長の了解が得られた者
- (3) 交流に関わる送迎や、授業中の支援について、保護者又は保護者に代わる者の付添いが可能な者

Q5 地域指定校が実施する遠足等の行事に参加することは可能ですか。

A5 児童・生徒が在籍する特別支援学校においても、遠足等の行事を実施していることに留意し、負担とならないか、授業への参加は十分できているか、などについて検討した上で判断していただく必要があります。

参加する場合には、在籍校と地域指定校とが十分な事前打合せを行い、保護者の責任の下、安全に留意して参加する必要があります。なお、宿泊行事への参加は、想定していません。

Q6 在籍校における交流活動の評価はどのようにしたらよいですか。

A6 地域指定校での学習の様子は、都立特別支援学校の通知表(あゆみ)の総合所見欄等に記入し、その成果を保護者と共有することが望ましいと考えます。

Q7 特別支援学級での交流を希望しています。通学区域外ですが、地域指定校として希望できますか。

A7 児童・生徒の障害の状態等によっては、特別支援学級での交流が有効な場合も考えられます。ただし、特別支援学級の状況によっては、交流を受け入れることが難しい場合もあります。区市町村教育委員会に希望を伝え、御相談ください。

Q8 地域指定校との打合せの日程調整が遅れ、副籍交流がなかなか進められません。地域指定校との打合せを円滑に進めるために、どのような工夫が考えられますか。

A8 副籍交流の内容が前年度と同様の場合や、双方の担任がもち上がりの場合などは、電話やオンラインでの打合せで十分な内容確認が行えることもあります。また、打合せを複数回設定し、交流を進めながら実施方法を調整していくことなども考えられます。保護者の交流内容等に関する希望を考慮しながら、交流が円滑に始められるような打合せの方法を、双方の学校で話し合うことが大切です。

令和5年度 副籍制度の充実による交流活動の推進検討委員会

委員名簿

所属 職	氏 名	
東京学芸大学 准教授	村山 拓	専 門 委 員
北区教育委員会事務局 教育振興部教育指導課長	水浦 茂樹	委 員
葛飾区教育委員会 学務課長	羽田 顕	委 員
東久留米市教育部指導室 指導室長	小瀬 ますみ	委 員
西東京市教育委員会教育部 学務課長	近藤 直	委 員

教育庁では、以下の者が担当した。

教育庁指導部特別支援教育指導課長	中村 大介
教育庁指導部主任指導主事（特別支援教育担当）	西岡 陽子
教育庁指導部特別支援教育指導課統括指導主事	平澤 庄吾
教育庁指導部特別支援教育指導課指導主事	魚谷 有里

副籍ガイドブック

東京都教育委員会印刷登録
令和5年度 第80号

発行日 令和6年2月
発行 東京都教育庁指導部特別支援教育指導課
所在地 〒163-8001 東京都新宿区西新宿2丁目8番1号
電話番号 03(5320)6847